

【1ページから】
■福祉保健部

山本等士・福祉保健部長から「同対審答申の精神をふまえ、同和問題解決を県政の重要な柱と位置付け、さまざまなとりくみをおこなってきた。しかし、同和地区の問合せ等の許しがたい差別事件が今もなお発生し、また人権課題現況調査の結果からも課題が残されている。昨年の県職員差別事件の反省点や課題を深く認識し、ひきつづき残された課題解決にむけて積極的にとりくんでいく」とあいさつをうけた。

はじめに、東牟婁振興局で発生した差別事件について、なぜ差別と見抜けなかったのかと問うと、「一言では言えない話。当時の管理職の問題、振興局としての対応の問題。研修を徹底するしかない。もちろんシステムの問題が大前提」と山本部長が答弁した。二次交渉や人権協会で実態調査のあり方について協議することにして、支部要求に移った。

支部要求では、市町村の地域福祉計画のなかに隣保館がどう位置付けられているのか点検・確認を要求。また、さまざまな制度改正や改善について周知徹底されていないことやケースワーカーの質的向上、老朽化する施設の建替えなど各支部からさまざまな要求や意見がだされ、すべての支部要求をおえた。



東牟婁振興局の件で答弁する山本篤士・部長

■知事室

支部要求のみで、3項目すべて回答を得た。知事室は広報課をかかえており「推進法」を県民に啓発する中心となる課であり、制定後、「県民の友」やテレビ、ラジオ等で人権のとりくみを紹介していると回答。しかし、その効果は把握しきれないとの回答にたいし、もっとマスコミを有効に利用すべきだとの意見がだされた。

また、東牟婁での差別事件について、知事室として認識はしているというものの、幹部職員だけにとどまっておらず、全職員には伝えきれないとの説明。県職員全員で差別事件を共有し「推進法」の周知を徹底してもらいたいと強く要求した。

■総務部

支部要求および部要求の1と2について交渉を行った。支部要求では、災害時の防災計画（対策）について具体的な施策を示すよう要求した。危機管理局からは、昨年度より「わか

やま防災力パワーアップ補助金」で市町村の「地域ごとの津波避難計画」策定の支援や避難所の資機材等の整備を実施しているとの回答であった。岩橋支部からは人口増加にともない避難所確保等の不安もあることから、各地域においても実情に応じて見直しをおこなう市町村や地元とも協議しながらとりくむよう要求した。

部要求では「推進法」制定をふまえ、部としての見解と今後のとりくみについての回答があった。飯田副委員長から「人権局だけでなく、県の全職員が推進法の趣旨を理解したうえで啓発・具体化し、部落差別解消にむけてとりくまなくてはならない。総務部は県の財政と人事を預かる部であるからそのための予算投入と人事配置をしてほしい」と要求した。

最後に、宮本書記長から2次交渉への宿題として「地対財特法」が15年前に失効し「和歌山県人権尊重の社会づくり条例」が制定され、審議会のもとで人権施策を講じてきたが部落差別が解消されることはなかった。「推進法」が制定された今、県（主に人権局）のシステムを改革するとともに、県条例の改正をふくめ部落差別をはじめあらゆる差別を解消するための回答を求め、1次交渉をおえた。

(3ページへ)

全国の課題を討議し、学習

全国農林漁業運動部長会議及び現地視察

第74期第3回全国農林漁業運動部長会議及び現地視察研修会を11月14日・15日、鳥取県琴浦町で現地視察をかねてひらかれ、飯田勝・農林漁業運動部長と担当事務局ふたりが参加した。

はじめに、池田清郎・中央農林漁業運動部長から「地域で抱えている課題をとおして、問題意識を共有して学習をする。さらに、全国のそれぞれの課題をもちよりに、運動をすすめていこう」とあいさつした。つづいて「中山間地域農業・農村の再生を考える」



用水路をフィールドワークする和歌山のメンバー

2日目は、赤碕文化センターでの全国農林漁業運動部長会議では、農林水産省経営局就農女性課の武藤誠・課長補佐から「平成30年度予算概算要求の概要」経営体育成支援事業（予算37億円）についての概要は説明され、農機具の購入について、条件不利地域補助型経営体育成支援事業で、各県・市町村が窓口となつて

いるので相談してほしい」と説明があった。また、和歌山から「来年度予算に漁業で活用する製氷機を購入

全高・全青を総括

第48回全高・第61回全青総括会議を11月21日、ホテル大阪ベイタワーでひらかれた。この会議には、全国各地から11府県連28人が参加し、和歌山から山本敏明・教育文化運動副部長、松井資喜・青年部長、担当事務局3人が参加した。

はじめに、安田茂樹・中央青年運動部長から「今日からは、全高・全青の成果や不十分な部分について、議論を交わしてほしい」とあいさつした。つづいて、各府県連より総括の報告があり、和歌山から「開催地が遠方であったため、交通の便のいい会場で開催してほしいか、また、全体会の講演がはじめての参加者にはむずかしく、理解しづらかったのでは」と提案した。

全国高校生・青年活動者会議は2018年4月21日・22日、兵庫県神戸市のホテル北野プラザ六甲荘で、第50回全高・第62回全



よりよい全高・全青にむけ討議した

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！写真を添えて支局までお送り下さい。（発送先）〒640-8314 和歌山市神前405-13 部落解放同盟県連合会内 解放新聞和歌山支局宛